医療・介護 最前線

BTSJAPAN（大阪府八尾市）

足指トレーニングで特許

足指からかかとを上下に動かして体幹のバランスを整え、リハビリテーションなどの効果を上げる――。手軽にできるトレーニングと指導法を考案し、全国の医療機関などに普及を目指すのが、大阪府八尾市のスタートアップ企業、BTSJAPAN（松原広信社長）だ。

八尾市にある医真会八尾総合病院。70代の女性Aさんがリハビリに臨んでいた。Aさんは長年膝痛に悩まされており、人工関節を入れる手術を前日に実施。痛みが残る中でベッドに腰を下ろし、器具に足を載せて足指を動かし始めた。

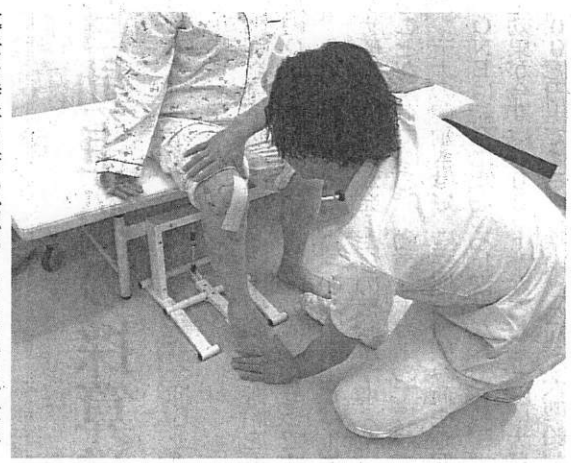
数分後、Aさんは理学療法士に支えられながらも立ち上がることができ、「かわいい孫と遊べる」と表情がみるみる明るくなった。リハビリを監修する同病院の奥田真義整形外科部長も「これほど効果があるとは」と驚く。Aさんは約2週間後に退院。通常の入院期間に比べて半分程度に短縮できたという。

松原広信社長

《会社の概要》
▽本社 大阪府八尾市桜ケ丘1の88ベルドミール桜ケ丘205
▽電話 072・998・7778
▽創業 2017年
▽事業内容 BTSトレーニングの特許・商標の管理運営、インストラクター養成など講習、機材販売、パーソナルトレーニング

トレーニングを考えたBTSの松原社長はもともと、市内で加圧トレーニングスタジオを経営。腰痛解消などを目的に訪れる利用者のうち、効果の出る人とそうでない人の違いに気づいた。「足指が地面をしっかり踏む人には効果が表れるのに対し、足指がそろわずに地面から浮いているような人は効果が見られなかった」（松原社長）。足指からかかとまでを上下に数分間動かし、足指の形と体幹のバランスを整えるトレーニングを考え、顧客に体験してもらうと効果が見られた。

弁理士の松山隆夫氏（BTS専務）の助言を得てトレーニング方法と指導法を特許申請し、認められた。トレーニングを補助する器具は八尾市の仲介で、市内の金属加工業ノチダ（後田裕三社長）に製作を依頼。数回の試作を経て完成させた。


手術した足を器具に載せ、上下に動かしてリハビリする（大阪府八尾市の医真会八尾総合病院）

BTS考案のトレーニングを指導するには受講料（18万円）、1年ごとの更新料（2万5000円）、器具代（8万9800円）が必要と定めた。事業モデルが確立したことから、昨年7月、BTSを設立、本格的な普及に乗り出した。

医学的な効果の検証にも着手。今年4月から八尾総合病院でBTS考案のトレーニング方法をリハビリに導入。病院は患者の同意を得たうえでリハビリのメニューに加える。「1年で50人程度のリハビリに取り入れ効果を検証、学会などで発表したい」（奥田整形外科部長）とする。

トレーニング法の普及により、トレーナーや病院などをバックアップする狙いもある。

スタジオなどで働いたり、個人で活動したりするトレーナーは多いが、競争も激しい。BTSの資格取得には費用がかかるが、他のトレーナーとの違いをアピールして顧客を増やせる。現在、約10人のトレーナーが資格を取得。将来は1万人程度に増やしたい考えだ。

病院も患者の入院期間を短縮できれば、病床が早く空いて手術数を増やせる。効果的なリハビリが受けられると評判が広がる可能性もある。

「トレーニングで膝痛などが本格的に悪化する前に改善できれば、医療費の削減にもつながる」。松原社長は訴える。

（東大阪支局長 苅谷直政）

（医療・ヘルスケア）

第一三共、米の3社統合

第一三共は米国のグループ会社3社を統合すると発表した。子会社のルイトポルド・ファーマシューティカルズ（ニューヨーク州）を存続会社とし、同社子会社であるアメリカン・リージェン